

# 2023年度 認定こども園せんにしの丘学校評価

2024年 3月 25日

## ■ 園の概要

当園は、千田・御幸学区地域の強い要望により1977(昭和52)年定員120名千田西保育所を御幸町に開設した。地域のニーズに応えるべき乳児保育、延長保育、一時保育、休日保育、学童保育、健康支援、そして在宅で子育てをされる家庭への支援など様々な事業を展開して来た経緯がある。2006年に園舎の全面改築を行い、更に園児の増加に伴いよりよい環境を目指して2011年には幼児棟も増設した。

現在は子ども子育て新制度により、2016(平成28)年度には幼保連携型認定こども園、「せんにしの丘」として、利用定員1号認定15名を含めた265名、0歳児から5歳児300名の教育・保育を行っている。

## ■ 本園における園評価のねらい

認定こども園に移行して7年目となり、毎年園内部での評価をしながら改善に向けて取り組んでいる。より一層の充実や発展を計り、園評価を実施している。教育・保育内容や運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、こども園として組織的・継続的な改善を図る。

## ■ 2023年度認定こども園せんにしの丘自己評価

2023年9月19日(全職員)

職員が評価シートをもとに、自分を振り返りながら自己評価を行った。

2023年11月13日

第三者評価のサービス編を職員が評価シートをもとに自己評価し、園の

2023年11月20日～11月25日

「人権擁護のためのセルフチェック」を職員が各自でチェックし、クラスで振り返りを行った。

2024年3月15日～3月24日実施

学校評価アンケート(全保護者)※キッズビューのアンケート機能を使用

2024年3月23日

一年間の反省・評価(職員)

## ■ 社会福祉法人の理念

愛は生命である

愛のあるところに生命が育まれるという信念で、命が尊ばれ、「個」が「共」に育つ保育を目指し、福祉の視点を忘れず、惜しみない愛ある保育を目指します。

## ■ 福祉の基本方針

わたしたちは  
笑顔で子どもたちを迎えます。  
成長と安全を家庭と見守ります。  
個性を尊重して平等に接します。  
生きる力が育つ環境を創ります。  
円滑な就学に向け連携をします。  
親子が共に育つ支援を考えます。  
持てる力で地域に貢献します。

## ■ 教育・保育目標

たくましい体と辛抱強い心を養う  
節度ある生活習慣を身につける  
思いやりのある美しい心を育てる  
何事にも興味や関心をもつ  
親しみをもって日常の挨拶をする  
緑に囲まれた太陽の輝く下で、乳幼児が秘める豊かで大きな可能性を、自らの力でのびのびと引き出せるように、時にやさしく時に厳しく援助し、すばらしい未来を創る人間性の基礎を培う教育・保育をします。

## ■ 具体的目標・計画

### ① 教育課程・指導

- ・ 全体的な計画・教育課程や年間指導計画、月案、週案、日案を作成することで、目標を明確にして共有し、子どもの実態に合わせた教育・保育をすすめている。
- ・ 週案や月案などを作成することより、一日の保育の流れなどを明確にする事が出来る。
- ・ 早朝保育担当から延長保育担当まで、一人ひとりの健康状態や伝達事項の申し送りを行い、保育がつながるように努めていく。

### ② 保健管理について

- ・ 内科健診、歯科検診、尿検査などの定期健診で園児の健康を把握するとともに、必要に応じて受診を勧める。
- ・ 園児の登園時の視診や保育中の様子に常に目を配り、日常と変わりがないか観察するとともに、異常があった時は、保護者に連絡を取り受診をすすめる。
- ・ 感染症が出た際は、保護者に啓発するとともに、手指の消毒や保育室の消毒を徹底し、感染拡大を防ぐ。
- ・ 毎年 1 度、薬剤師による水質や照度、空気など、環境の検査を行っている。

### ③ 安全管理について

- ・ 毎月交通安全指導、避難安全訓練を行っている。
- ・ 登降園時の送迎車や歩行者の誘導 をするとともに、登降園の際の安全確保の啓発
- ・ 電子錠による施錠
- ・ 業者による定期的な A E D の電池残量確認。

### ④ 組織運営について

- ・ 衛生委員会やリーダー会など、月に 1 回または必要に合わせて開催している。
- ・ 月に一度所内人権研修を持ち、クラスの取り組みや園行事について話し合い、意識統一を図る。
- ・ 毎日、午睡時に昼礼をもち、各クラスや園全体の情報共有を行っている。
- ・ 年度当初に教職員で勤務要綱マニュアルの確認をし、個人情報の 取り扱い方や、守秘義務についても周知する。年度の途中での採用があった場合も徹底できるようにする。
- ・ 各クラスのリーダーに相談・報告をする体制づくり。

### ⑤ 研修（資質向上の取組）

- ・ オンデマンドによるキャリアアップ研修（フレーベル研修）を各自のペースで積極的に受講したり、職員研修として設定することで、資質の向上を図る。
- ・ 園内研修に関してはシフト制の勤務体制ということもあり、全職員が集まることが難しいため、シフトや時間等を工夫し、複数回開催するなどの工夫をしながら、全職員が同じ意識を持っていけるよう にしている。

### ⑥ 情報提供

- ・ 毎日の活動の様子を文章や写真で掲示し、毎日保護者に情報提供している。
- ・ 園だよりやクラスだよりなどを通して、保護者に情報を提供 している。
- ・ H P を通して園内の情報を提供している。
- ・ 園だよりに記載してある、予定表により行事などを周知している。

### ⑦ 保護者・地域住民との連携

- ・ 保護者会役員会を中心に、行事を計画したり懇談会を行うなど、保護者との連携をとっている。
- ・ 参観日を利用しての参観や教諭同士の連携、子どもの交流など、小学校との連携を とっている。
- ・ 千田学区の行事に子どもが参加することにより、保護者も一緒に参加し、地域の行事を知る機会になっている。
- ・ 千田学区まちづくり推進委員会の一員として活動している。

### ⑧ 子育て支援

- ・ 曜日毎に年齢別のサークルや地域の公園でのおでかけ保育を行っている。
- ・ フジグランやゆめタウン福山にて、おでかけ保育を行っている。
- ・ 相談内容に応じて、担当者が個別に対応する「子育て相談」を行っている。
- ・ ゆめタウン福山内の「いくたす」にて、子育て相談や一時預かりを行っている。

### ⑨ 預かり保育

- ・ 就労の有無に関わらず、1号認定児童対象の幼稚園型一時預かり保育を 19:00 まで行っている。

### ⑩ 教育環境整備

- ・ 園庭や園舎、遊具など、危険箇所がないか定期的に点検を行っている。
- ・ 修繕箇所を発見した際は、園長まで直ちに報告し、その後、必要があれば業者を呼び対応している。
- ・ 季節ごとに花壇の花を整備し、身近で自然に触れ、季節を感じられる環境づくりをする。

■教育目標の達成、学年の年間目標に対する評価

○教育・保育目標

保育目標	評価
たくましい体と辛抱強い心を養う	リズム遊びやサーキット遊び、園外散歩、4・5歳児はたいそう指導やスイミングなどにも取り組み、体力づくりをしている。体のバランスや動かし方は、小さい時からの積み重ねが大切になるため、個人差に配慮しながら、体を使った様々な活動を、年齢に合わせて取り組んでいる。様々な活動の中で、初めてのことや難しいと思うことでも、継続的に意欲的に取り組めるよう、できているところをしっかりと認め、励ましたり寄り添ったりなどの関わりを大切にしている。友だちと一緒にひとつのことに取り組んだり最後までやり遂げる経験を通して、達成感を味わうことができている。
節度ある生活習慣を身につける	日々の生活の中で、それぞれの年齢に合わせて身の回りの生活習慣について知らせ、一緒に取り組んでいくことで、生活の流れをおぼえたり、基本的な生活習慣が身につけていっている。個人差にあわせて、一つひとつのことを丁寧に繰り返し知らせ、そばで見守り励ましたり、一緒にして出来たことを一緒に喜んだりする中で、意欲的な姿を認めながら次への意欲や自信につながるよう関わっている。毎日のおたよりや懇談などで関わり方のポイントなどを保護者に啓発していくとともに、子どもの成長をしっかりと認め保護者の方と共に喜びあひながら、家庭とともに取り組んでいる。
思いやりのある美しい心を育てる	友だちとの関わりの中で、自分とは違う相手の思いに気づけるよう、保育者が仲立ちになりながら繰り返し知らせている。遊びの中で、泣いている友だちを気にかけてたり、知らせしてくれる姿も多くみられ、相手を思う気持ちが育っている。一人ひとりのよいところを認め、それぞれが頑張っている姿を保育者が認めることで、友だち同士で認め合ったり励ましあったりする姿がみられる。子どもの内面を理解しながら保育を行っていくとともに、保育者自身が子どもに寄り添い、思いやりのある言葉や態度を大切にしていく。
何事にも興味や関心をもつ	子どもたちが何に興味・関心を持っているのかを常に考えながら、活動や環境の中に取り入れるように心がけた。保育者や友だちと一緒に遊ぶ中で、「たのしかった」「またやりたい」という気持ちももてるよう、その気持ちがさらに他のことへの興味や意欲につながるよう園ならではの多様な経験ができるようにした。個人によって興味・関心も違うため、一人ひとりにあわせて関わりも大切にしながら、子どもたちの発見や気づきに共感し取り上げることで、興味・関心が更に広がっていく。保育者主導になってしまわないよう配慮しながら、子どもたちが様々な場面で主体的に活動できるように、保育者が大切な環境として子どもたちとの関わりを大切にする。
親しみをもって日常の挨拶をする	基本的な生活リズムを繰り返す中で、生活の中のいろいろな場面に応じた挨拶や返事を知り、すすんでできるようになってきている。友だち同士でも、「おはよう」や「さようなら」のあいさつを親しみをもってすすんでしている姿がみられる。まずは保育者が進んで身の回りの挨拶をしていくとともに、地域の方や来園者にも、気持ちのいい挨拶をする姿をみせていくなかで、子どもたちが自分から進んで挨拶ができるようにしていく。周りで関わっている様々な人の存在に気づき、人に対する感謝の気持ちを伝えることも大切に伝えていきたい。

○学年の年間目標

	年間目標	評価
0歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆安全で衛生的な環境を整え、生理的欲求が満たされるようにする。</li> <li>☆保育者とのあたたかいふれあいのなかで、安心して過ごせるようにする。</li> <li>○ひとりひとりにあわせて生活リズムを整えながら、基本的な生活習慣を知らせていく。</li> <li>○自然物や玩具、身近な生活用具など、いろいろなものを見たり触ったりして積極的に興味を持ち、意欲的に探索活動をする。</li> <li>○保育者との信頼関係を土台にして、情緒の安定を図り、人やもののかかわりを広げていく。</li> </ul>	<p>月齢に合わせて2～3クラスに分かれ、月齢に合わせた生活や活動を大切に、日々の保育をすすめることができた。一人ひとりの健康状態を把握し、室内環境や衣服の調節など考慮しながら過ごしやすい環境を作るよう心掛けた。特定の保育者が関わることによって信頼関係を築き、子どもたちの欲求を受け止めながら安心して過ごせるように配慮する中で、月齢にあわせた遊びを取り入れ、様々な物に興味関心をもって遊んだり季節を感じる事ができた。途中入園が多く、子どもや保護者との信頼関係づくりと常に安心安全に過ごせる環境作りをしていく。</p>
1歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆簡単な身の回りのことが“自分でできた”という喜びが感じられるよう、保育者がさりげなく援助する。</li> <li>○保育者の援助を受けながら、基本的な生活習慣を身につけていく。</li> <li>○保育者、友だちの模倣をしたり、食事・着脱・排泄など身のまわりのことを自分でしようとする気持ちをもつ。</li> <li>○いろいろな経験を通して、好奇心や興味・関心をもたせ、十分探索活動ができるようにする。</li> </ul>	<p>高月齢と低月齢で別れて活動することで、子どもたちの成長に合わせて無理なく活動することができた。身の回りのことを自分でやろうとしている時にはできるだけ見守り、自分でできたという喜びにつながるような援助を心掛けた。また、気持ちが向かない時には少し待ってみることで、自分から主体的に動けるように関わり、さりげなく援助することで、できることがふえてきた。季節に合わせて園外の活動も取り入れ、子どもたちの好奇心を大切にしながら探索活動を経験することができた。</p>
2歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆安定したかかわりの中で、やりたいことや自分の気持ちが十分表現できるようにする。</li> <li>○自分でやろうとする気持ちをほぐし、生活に必要な身の回りのこと（食事・排泄・着脱・睡眠など）が少しずつできるようにする。</li> <li>○いろいろな活動を通して保育者や友だちとかかわり、一緒にあそぶ楽しさを味わう。</li> <li>○身体を使ったあそびや表現することを楽しむ。</li> </ul>	<p>高月齢と低月齢に分かれて活動する中で、一人ひとりの気持ちに寄り添いながら子どもたちの思いを受けとめ、安心して過ごせるよう心がけた。身の回りのことを「自分でしたい」という気持ちを大切に一人ひとりの個人差に配慮しながら関わる中で、できるようになったことを一緒に喜び、すすんでしようとする気持ちができてきている。子どもたちの興味や関心を大切にしながら、発達段階にあわせて遊びを工夫する中で、保育者と一緒に遊びを楽しみ、友だちと会話などのやりとりをしたり関りを広げて楽しんでいる。</p>
3歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆保育者との信頼関係のもと、集団生活の心地良さを感じる。</li> <li>☆身の周りのことができるようになったことを喜び、すすんで行う。</li> <li>○友だちとかかわりの中で、相手の気持ちに気づきながら、一緒にあそぶ楽しさを味わう。</li> <li>○さまざまな活動を通して、興味や関心を広げ、さらに意欲を持って生活しようとする。</li> <li>○自分の思いを言葉やいろいろな表現で伝える。</li> </ul>	<p>食事のマナーや衣服の着脱、身の回りの整理整頓など、自分でできる声かけを励ましていくことで、意欲的に進んでする姿が多くなり、できることを喜び姿が増えた。英語指導やメロディオン、日本太鼓などの新しい活動もあったが、興味をもって参加することができ、できるようになることを自信にしながら意欲的に取り組むことができた。自分の思いを言葉で伝えられるように表現の仕方を伝えたり、一緒に言うことで、自分で伝えようとする姿が増えた。</p>

4 歳児	<p>☆安心感をもって過ごす中で、自己肯定感を育み、可能性を十分に発揮できるようにする。</p> <p>○園の生活に慣れ、見通しを持って活動をする。</p> <p>○自分の思いだけでなく、相手の思いを受けとめ考えていけるようになり集団で行動することを楽しむ。</p> <p>○生活やあそびを通して達成感を味わい、自信を持って行動する。</p> <p>○話を聞く力を身に付ける。</p>	<p>園舎が変わり、新しい生活リズムや約束事については、繰り返しの中で徐々に身につけてきている。身の回りのことを自分でしようとし、時間を知らせることで見通しをもって行動できるようになっている。友だちとの関わりの中でも、保育者の仲立ちのもと、自分の思いを伝えられるようになってきている。集団での活動が多い中、話を聞いて理解して行動できるように、一人ひとりの姿にあわせて、個別に声をかけたりすることで気づくことができる姿もあり、一つひとつの様々な活動や行事を終えるごとに自信につながり、「次はあれがしたい」「やってみよう」という意欲が見られるようになった。次年度の年長児への期待をもてるようにつなげていく。</p>
5 歳児	<p>☆園生活を楽しみ、見通しを持って過ごしていく中で、基本的な生活習慣や態度を身につける。</p> <p>○友だちや保育者、地域の方との関わりの中で、社会に必要な習慣、態度を身につけて行動する。</p> <p>○自然や身近な社会事象に興味関心を持ち、豊かな心情や好奇心、探究心を高める。</p> <p>○生活の中で言葉を使って表現する意欲や態度を育て、伝え合う大切さ喜びを知る。</p> <p>○全身運動がなめらかになり、いろいろなあそび、活動に活発に取り組む。</p> <p>○いろいろな活動を通して、様々な表現を楽しみ、意欲的、創造的に取り組み、豊かな感性を養う。</p>	<p>一年を通して、年長児としての自覚をもち、様々な活動に意欲的に取り組む姿がみられた。一日の活動に見通しをもって活動することができるようになり、自分たちで考えながら昼食の用意や次の活動の用意ができるようになった。保育者と一緒に相手の気持ちを考えたりすることで、少しずつ相手の気持ちを聞こうとしたり、子どもたちだけで解決する姿もあった。身近な人に関心を持ち、すすんであいさつをしたり感謝の気持ちを伝える姿もある。一人ひとりの興味や集中などを考慮しながら、一人ひとりが意欲的に取り組みやり遂げることができるよう、活動の内容や援助を工夫し、友だちを意識しながら力を合わせてやり遂げる経験を重ねることができた。</p>

## ■園務分掌から

### ○行事

- ・コロナの第5類移行に伴い、行事の持ち方も再度検討した。コロナの時の行事の持ち方の良いところを生かしながら、新しい形を考える中で、人数制限をなくしたり、鼓笛を神辺文化会館での開催とし、エフピコアリーナでの運動会を行うなど、初めての試みが多かった。時間や場所、内容など様々な反省が出たため、来年度に向けて検討が必要である。外部の会場を使用する場合、土曜日が取れないこともあって平日の行事が多くなり、保護者からの意見も多かったため、それをふまえて来年度の行事を検討し保護者の理解がもらえるように啓発していく。

### ○食育

- ・食育の年間指導計画にそって、月1回の食育指導で、その月の目標にあわせて子どもたちに指導している。感染対策で各クラスでの指導になっていたが、5類への移行に伴い、栄養士が直接クラスを回って指導することで、より専門的な指導内容となり、子どもたちの興味や意識も高まっている。

### ○誕生日会

- ・クラスで内容を考え、子どもたちの楽しめるものを工夫し、落ち着いて楽しむことができていく。クラスの中でいろんな職員が担当することで、職員の経験にもなっており、いろんな壁面や小物などを工夫することで、より雰囲気盛り上げることができている。
- ・子どもたちの年に1度の特別な一日を、大切にしていこうという意味でも、休んだ子に対する配慮を大切にする。

### ○避難安全訓練・防犯訓練

- ・幼児棟と本棟に分かれ、様々な設定で訓練をすることができた。また、津波や浸水を想定した避難訓練などいろんな想定や場面での避難訓練を出来る限り行っていく。
- ・いざという時に職員が的確に避難誘導ができるように、職員の役割の意識を再度確認する必要がある。研修を受けたり、危機管理マニュアルに沿って実際の避難を想定して内容を検討し見直ししていくなど、リーダーの職員がいなくても判断し誘導ができるよう、全職員への意識統一をしていく。

### ○安全指導・安全点検

- ・月1回の安全点検を、各クラスで行っている。子どもたちの安全を第一に考え、危険な個所に気づける意識が大切である。形式的にならないよう、確実に点検を行っていきともに、気づいたときに即対応し対策をとるようにすることで、事故を防ぐという意識をもつ。
- ・安全指導は、遊具の使い方や園庭で遊ぶ時のルールなどを職員間で確認し、だれでも同じように指導できるようにすることが必要である。散歩の際のルートの見直しや危険場所の把握と共有なども定期的に行っていく。また、子どもへの安全指導も計画的に行えるよう取り組んでいく。

### ○水遊び・夏季プール

- ・週に2回のプール遊びができるよう計画した。監視を確実につけるためには職員体制も関係してくるため、安全のため無理をしてプールをすることがないよう、職員間で統一した。年々暑さが厳しくなっているので、熱中症に気を付け、時間を短くする対策をしたり、場合によっては中止にすることも必要であり、安全を重視した活動ができるよう徹底した。
- ・機会に限られるが、遊びの内容を工夫して、年齢に合わせて夏ならではの遊びを楽しめるようにしていく。

## ○飼育栽培

- ・玉ネギやじゃがいも、さつまいもなど、季節ごとに自分たちで収穫し、それを給食で味わうという経験が、子どもたちの食事への意欲につながっている。また、プランターでの野菜栽培は、登降園の時に保護者と子どもが毎日見たり、野菜の生長を細かく見つけたりと季節を感じながら学びの場になっている。実際に自分たちで水やりや草取りなどの世話をする経験も取り入れていく。

## ○保育内容

- ・各クラスで、子どもの姿や季節にあわせて、計画的に様々な活動を計画し楽しんでいる。部屋や園庭も保育計画に合わせてクラス同士で話し合い調整するようにしている。
- ・どのクラスも、子どもが主体的に遊びに取り組める環境を大切に保育をすすめていけるよう工夫する。そのためにも、外部研修を受けたり、園内研修をしていく必要がある。

## ○施設・整備

- ・日頃から掃除や整理整頓を心掛け、気持ちよい環境で過ごせるように心がけている。なかなか行き届かないところがあるので、声をかけあって安全に過ごせる環境づくりを心掛ける。園庭や花壇の整備も職員がすすんで取り組んでいけるようにしていく。
- ・ネット環境の整備がすすんだことで、パソコン関係の事務の時間が短縮されている。キッズビューの導入により新しい取り組みも多いが、保護者の理解と協力をいただきながら、いろんな機能を導入していく。

## ○園外研修

- ・キャリアアップ研修を含め様々な分野の研修を全職員に案内し、興味のある研修にすすんで参加するよう全職員に啓発している。今年度はフレーベル研修を受けることができ、自分の時間で自分のペースで研修を受けることができることで、今まで研修に行く機会の少なかったパートや臨時の職員も、たくさんの研修を受けることができた。いろんな分野の研修を受けることができ、職員の視野も広がった。重要な研修は、機会を分けて全職員が受けるようにするなど、いつでも受けられるウェブ研修を有効活用し、研修を深めていきたい。

## ○園内研修

- ・1年に1度は、全職員対象の研修をもつようにしているが、休日保育や延長保育があり、全員は難しい状況がある。そのため、複数回に分けて行い、全員が参加できるようにしている。今年はフレーベル研修を受けることができ、複数の研修を園内研修として、全員が受けるように取り組んだ。安全や子どもの人権を大切に保育など、同じ研修を聞くことで、大切にしなければならないことを全職員で共有することができた。今後は、研修したことを実際に日々の保育に活かしていくための研修を深めていく必要がある。

## ○個人懇談

- ・懇談の希望を取り、希望があった方すべてに対応して懇談をもった。また希望がなくても担任が必要と判断した場合は、個別に声をかけて懇談の場を設け、園と家庭での様子を伝え合い共通理解することができた。
- ・日々の送迎の際のやりとりの中でも、しっかりと保護者と連携が取れるように意識していく。

## ○各クラスのコミュニケーション

- ・月1回の会議や毎日の昼礼の際、各クラスの個の取り組みや保護者の状況、怪我などのインシデント事例などを報告し合い、情報共有をしている。
- ・週案を一覧に記入することで、他のクラスの保育内容を知り、園庭や保育室の使い方をクラス同士で調整するようにしている。
- ・お昼寝のないクラスや、職員の勤務時間帯が様々で集まりにくいクラスなど、クラスによっては職員同士の話し合いの時間を設定して、話し合いができるようにしている。
- ・3歳以上のクラスは、行事への取り組みに多くの時間を要している状況があり、担任も忙しいというイメージがある。自分のクラスだけでなく全体のことを考えていけるよう、他のクラスへの気配りを大切にしていきたい。
- ・携帯を整備したことで、ラインを使った連絡で、職員間の連絡が早くできるようになった。有効に使える方法を検討していく。
- ・毎日短時間でも、各クラスでの振り返りの時間を持ち、保育内容や子どもとのかかわり方などを話し合い、職員間の意思の疎通や意識統一を図るようにしている。

## ○職員会議など

- ・毎日昼礼で、日々の出来事や行事のこと、感染症や事故・怪我の共有をしている。
- ・月に1回の所内人権研修は、リーダーが出席するような形になっているが、可能な限り短時間でもいろんな職員が参加するようにし、園内のことにみんなが共通意識をもっていけるようにしていくことが必要。
- ・勤務形態が多様で、常に保育があるため、全員が集まることは難しいが、必要に応じて、リーダー会議をもったり、時間を分けて全員が参加できるようにするなど、これからも工夫しながら職員の意識統一を図っていく。
- ・代表者の出席なので、会議の内容を伝達することで、職員間での共有ができるよう、伝達方法を見直し確実に伝わるしくみづくりをしていく必要がある。

■保護者による学校評価

2024年3月15日～3月24日（全保護者）キッズビューアンケート機能にて回答  
園児数283名（家庭数218件） アンケート提出数215件 回答率98.6%

せんにしの丘学校評価アンケート

評価 A: そう思う B: ややそう思う C: あまり思わない D: 思わない E: 分からない

	アンケート内容	評価				
		A	B	C	D	無
1	子どもは、園生活を楽しいと感じて通園し、意欲的に活動に参加している。	157	52	0	2	4
2	子どもは、園で十分に遊んだり、運動している。成長を感じられる。	178	33	1	2	1
3	子どもは、園の出来事、先生や友だちの話をしている。（人間関係が築けている）	132	57	3	2	21
4	子どもは、給食やおやつをおいしく食べている。楽しく食事ができている。	154	50	0	0	11
5	子どもは、あそびと休息などでリズムある生活ができている。	168	41	3	0	3
6	子どもは、身辺自立に向けた行動ができる。	131	65	9	2	8
7	職員は、明るく接し、適切な言葉遣いや電話対応ができている。	172	40	2	1	0
8	職員は、保護者との信頼関係ができ、コミュニケーションがとれている。	145	64	3	2	1
9	職員は、人権を大切に、子どもをよく理解し、誠実に対応している。	168	42	1	1	3
10	職員は、教育・保育の指導方法や内容を工夫している。	161	41	1	1	11
11	職員は、園での子どもの様子や連絡事項を適切におこなっている。	157	52	5	0	1
12	園は、自然や社会とかかわりをもてるような体験を取り入れている。	158	44	3	0	10
13	園は、年齢の異なる園児がふれあえるような機会をもっている。	91	71	20	3	30
14	園は、保護者の子育てについての必要な面談や支援を行っている。	127	64	11	3	10
15	園は、地震・火災・不審者から子どもが守られるように努力している。	159	39	2	1	14
16	園は、施設の安全点検、衛生管理を行っている。	137	46	4	0	28
17	園は、早朝保育や延長保育など少人数での保育を適切に行っている、	142	29	1	0	43
18	園は、だよりやセコムメール等で情報を分かりやすく伝えている。	176	35	1	0	3
19	園は、保育ICTなど情報共有の利便性の向上を図っている。	166	26	3	0	20
20	園は、保育参観や懇談を通じて、園の状況や家庭での育ちを共有している。	161	43	2	1	8
21	園の、全般的な行事の回数や時期・内容は適切である。	134	53	16	0	12
22	園の、運動会の時期・内容は適当である。	128	53	6	0	28
23	園の、発表会の時期・内容は適当である。	127	53	8	0	27
24	園の、参観日や懇談の時期・回数・内容は適当である。	139	51	9	2	14
25	園の、せんにしまつりの時期・内容は適当である。	124	46	5	0	40

○アンケートの気付きより（自由記述）

- ・とても良い保育園でした。良い子に育てて下さって感謝しております。4月から転園するので寂しい限りです。ありがとうございました。
- ・いつも子供達をありがとうございます??
- ・いつもありがとうございます。
- ・いつもありがとうございます。先生方のお陰で、子供の成長を楽しく見守ることができております。親としての悩みや不安も相談に乗っていただいたりなど、大変心強く思います。
- ・あまり登園出来てないですが、せんせいには良くして貰っていると思います
- ・仕事をしながらの子育ては本当にジレンマを感じることも多いし、子どもに負担をかけているな…申し訳ないと思うことも多々あります。そんな時に先生の言葉に励まされたり、一緒に成長をみまもり喜んでくださって 心があたたかくなります。時に先生の言葉にちよつとぐさっと来ることもあります…この園に通うことができ本当によかったと思っています。
- ・大勢の園児を限られた先生の数で保育や行事を行ってくださっているとおもいます。
- ・まだ通い始めて、4ヶ月程なのでわからない部分が多いが、子供が楽しそうにしているのは日頃の連絡事項などでわかるため、引き続きお願いします。
- ・いつもありがとうございます。
- ・アンケートの9.10については日中の様子だと思われないに回答してます。
- ・子どもたちは園生活を楽しんでいるようです。言葉での報告だったりふとした行動だったり感じてます。たくさん子どもたちがいる中、丁寧に関わっていただけてありがとうございます。
- ・今年度もありがとうございました。来年度も宜しくお願い申し上げます。
- ・特にありません。
- ・いつも子どもたちのために安全第一で楽しく、優しく、厳しく指導して下さりありがとうございました。安心して預けることができていました。ありがとうございました。
- ・8年間お世話になりました。手書きでの時間記入の時に入園したので、今のデジタル化にはビックリです。便利になりました。コロナもあった中でも、先生方の工夫で行事を行って下さりありがたかったです。大変だっただろうと思います。体育館でみた年長さんの音体がかつこよくいつか我が子もその舞台上に立てるんだあとウキウキしたことを先日のように思い出します。やはり体育館でみた隊列は素晴らしいかったです。太鼓をさせて頂いた経験は、小学生になっても自分の自信になるのだとお姉ちゃんみています。色々行事がある中で、先生方は大変だと思います。その中で、娘2人は伸び伸びと、しっかりと成長できました。ありがとうございました。たくさん保護者とも知り合え、話ができてとてもいい思い出です。仲良くしてもらえました。せんにしに通えたことは我が家にとって幸運であったと思っています。せんにしの丘様の益々の発展を遠くから祈念しております。せんにしの思い出を胸に明後日、せんにし卒園します。ありがとうございました！
- ・年長になって行った親子遠足で、皆と過ごした時間が楽しく思い出に残っています。せんにしまつりも、夜ご飯に自分でおにぎりを握るという体験をさせてもらったり、親は夜までゆっくりさせてもらえて助かりました。秋の遠足も、バスに乗ったり船に乗ったり色々な体験をさせてもらいました。子供に、親子遠足楽しかったねと話すと、覚えていない言っていたので（泣）、写真など頂けると有り難いです。
- ・1年間ありがとうございました。保育園が楽しいようで、いつも嫌がらず行ってくれます。来年度もよろしくお願いします。
- ・いつも細やかな保育をありがとうございます。先生方の伝達がいき届いている事に感心してます。今後もよろしくお願いします。
- ・先生からの説明や連絡は常に保育園側からの反省や改善、よりよくしようという思いを感じました。接する先生方皆様から、子どもへの優しさや責任を感じ、保育園という場所に安心して頼らせていただけた一年でしたありがとうございました。来年度もよろしく申し上げます

- ・いつもありがとうございます^\_^参観日はもう少し見たいです！（回数）せんにしまつりは、時期はいいのですが、また以前のように親子参加型が良いなど。低学年（らっこやぺんぎん）の発表会も楽しみにしています♪
- ・保育園での行事で、色々な行事は楽しみが出来て凄く良いと思います。でもコロナが出てからせんにしまつりを子供と参加出来ないのが一番寂しいと思ってます。コロナ前みたいに子供と一緒にせんにしまつりを楽しみたいです。親子で参加出来る行事を増やして欲しい。せんにしまつりや、小さいクラスの子でも一緒に行けるように親子遠足や皆で親子で散歩や公園など……。他のママさん達と色々話したいし他の子と触れ合いたいし、自分の子と他の子と親と一緒に遊んだりしたいです。とりえず保育園での親子で参加出来る行事を増やして欲しいです。
- ・運動会の場所が少し遠いように思います。
- ・園での活動等は満足しております。何度かお手紙で注意はして下さってますが駐車場で話をしてお子供が走り回る、普段迎えに来てく知らないのか堂々と駐車場の真ん中を歩く方を見かけます。定期的にお手紙にて注意頂くか、大きく張り紙等で注意喚起して頂きたいです。飛び出して来る子がいて、こちらが怖いです。
- ・園での生活については無いのですが、登園時や迎えの時に、黄色の通路以外を歩いたり、出口側から車が入ったりする方をよく見かけるので、一時利用の方などにも都度伝えていただけると、より安全になるかなと感じます。
- ・最近、聞いたり見たりするのが、保育する部屋にカメラとかあっておやがいつでもみれたりするとうのを知人から聞いたりしたので、せんにしまつりは、そーゆーのはないですかね？結構最近色々ニュースになることが多いので気になりつつあります。
- ・運動会や発表会は土日にしてほしいです。平日しか無理な場合は、その後の保育もしてほしいです。また、未就学児は連れてこないようにプリントに書いてある時もありますが、当日連れてこられている家庭もよく見かけます。きちんと守って、一時保育を利用している人が損をしないように徹底して下さい。
- ・せんにしまつり、お誕生会は、コロナ前のスタイル（保護者参加）に戻して欲しい。子ども服（靴、長靴）や子ども用品（抱っこひもや傘など）や園の制服などのバザーをして下さると助かります。発表会等で、必要な白靴は、使う頻度が少ないので、購入しなくて良いように検討してほしいです。持っている靴で良いとか、白靴のリサイクルのバザーをしてくれるなどだとありがたいです。
- ・園だよりにこどものフルネームの掲載は不要に思います。クラスのおたよりの紹介だけで十分に思います。一人ひとりを大切にしてくださる気持ちからの対応のかなと思います。
- ・災害などの避難訓練の実際の様子が見たい(もしくは詳しい説明)
- ・明るく元気に挨拶してもらえると嬉しいです。(特に朝)会話の中で兄弟のことを指す呼称は「妹」「弟」ではなく「妹さん」「弟さん」の方が感じが良いです。在園児さんが来園者に対して自然と挨拶できる習慣がつくと良いなあと思います。
- ・準備中かもしれませんが、園の様子をキッズビューで見れるようにしてほしいです。
- ・小学校行事と保育所行事を別々にしてもらえると大変有り難いです。また、発表会は数年前の時期に戻されることはないのでしょうか？音体と発表会との期間が短く…子供の覚える期間が短いのが気になりました…
- ・平日の行事は、できるだけ少なくしてほしい。
- ・連絡ノートで保育士(自分)のことを先生と記載することに違和感を感じます。ある特定の先生なのですが、連絡ノートの文字が読みづらいです。また、子どもとの接し方を見ていて愛情を感じませんし、保護者とコミュニケーションを取ろうとしていないと感じます。
- ・駐車場や交通マナーの悪い保護者がみられます。年中・年長の先生の子どもに対する言葉遣いを聞いていると、子どもを預けるのが不安になります。
- ・先生は「特に変わりなく過ごしている。」と言われますが、特に変わりなくでは伝わらないです。口頭でも今日〇〇があって楽しそうだった、友達と△△で遊んでいた等、一言二言教えてほしい。先生によってはお母さん、お父さんと言う人がいますが、先生のお父さん、お母さんではありません。◎◎ちゃんのお母さん、▲▲君のお父さんなどで呼んでください。
- ・年長の運動会では組体操を見てみたい。行事が多いと通園に気分が乗らない事があった。いろんな経験が出来て1年毎に成長を感じる。
- ・いつもありがとうございます。運動会は熱中症対策は大切ですがやはり屋外で開催して欲しいと思いました。
- ・発達支援が必要なのはわかるが、何故か、発達支援をやたら勤めるように感じる。
- ・運動会や発表会の詳細をもう少し早く教えて欲しいです。特に服装など、週末に用意しないといけないかもしれないと心配になっていたの、前の週の週末までにはお知らせしてほしいです。
- ・せんだの森やみゆきにあるような、綺麗な遊具を導入してほしいです。特に、雲梯や登り棒は公園にもないので、やらせてあげたいです。
- ・これまでの参観日は親子と一緒に制作したり参加型でしたが、今回は保護者は見学だけで個人情報の観点から写真も撮れなくなり、感染防止等色々難しいのかもしれませんが、やっぱり上の子で経験してただけに行事の内容が全体的に淋しく感じました。
- ・いつもありがとうございます。平日は仕事が休みにくいため、行事は土日してもらえるとありがたいです。発表会などの行事ですが、小学生の姉も、弟が頑張っている姿を見たいようなので、一緒に観覧できたらいいなと思いました。あと、コロナ前のせんにしまつりがとても楽しかったの、また親や兄弟も一緒に参加できたらいいなと思いました。
- ・お昼の歯磨きが再開になると嬉しいです。
- ・プールの時など廊下で着替えさせたりドアをオープンにした状態での着替えなどには抵抗があります。
- ・どの状況で会ってもこちらから挨拶しても何年も全く反応がなく先生がいます。私個人としてはどうでもいい話ですが、子供の担任になるかもしれない考えると不安になります。
- ・運動会の時期や内容等は適当ですが、開催場所を園の近場にして欲しい。エフピコアリーナはキレイで良いと思うのですが、開催時間（集合時間）が早く、車も混み合い、不便に感じた。(千田小ではダメなのか？以前は千田小だったので・・・)今年は早くからインフルエンザ感染症が流行ったので、冬ではなく冬前に行ってほしい。

## 〇アンケート 結果より

今回は、キッズビューを利用して、全保護者を対象に匿名でアンケートを実施した。98.6%とほとんどの方に回答をいただき、感想や気づきなど様々な意見を聞くことができた。新型コロナウイルスが第5類に移行になったことで、行事などの見直しも多く、今年度は行事の時期や実施方法の工夫とともに、特に初めての試みに対するの意見も多い。今年の行事の持ち方をもとに、来年度以降の計画をよりよいものになるよう考えていく。また、保育者の子どもへの関わりや保護者との関わり、子どもの園での姿の伝え方など、全職員がよりよい対応ができるよう、今後も研修などを取り入れながら取り組んでいくことが必要と感じた。

行事などに関して、保護者の意見は本当に様々である。せんにしまつりの丘は、様々な事業をしており、家庭や仕事の状況が異なる多様な利用者が来られる中、求められるものも多様である。そんな中、園の方針や行事の持ち方についているような意見があると思うが、一つひとつしっかりと説明をして理解をしていただきながらすすめていくことを大切にしていきたい。保護者の皆様に、園の活動や取り組みを知り関心をもっていただくことで、子どもの成長と一緒に見守っていけるよう、行事や日々の情報発信やコミュニケーションを見直していきたい。